

## 平成29年 業種別死傷災害発生状況(確定値)

鹿児島労働局

	平成29年		平成28年		増減数	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
<b>全産業</b>	<b>1,961</b>	<b>21</b>	<b>1,985</b>	<b>20</b>	<b>-24</b>	<b>1</b>
1 製造業	377	1	382	2	-5	-1
1 食料品製造業	236	1	235	1	1	
4 木材・木製品製造業	26		20		6	
9 窯業土石製品製造業	19		15		4	
11～12 金属製品製造業	30		19		11	
13～15 機械機具製造業	21		28		-7	
上記以外の製造業	45		65	1	-20	-1
2 鉱業	6	0	5	0	1	0
3 建設業	312	8	314	4	-2	4
1 土木工事業	118	2	129	2	-11	
2 建築工事業	143	4	148	1	-5	3
3 その他の建設業	51	2	37	1	14	1
4 運輸交通業	189	4	211	2	-22	2
1 鉄道・航空機業	11	2	8		3	2
2 道路旅客運送業	16		27		-11	
3 道路貨物運送業	161	2	175	2	-14	
4 その他の運輸交通業	1		1			
5 貨物取扱業	32	1	22	0	10	1
1 陸上貨物取扱業	10		10			
2 港湾運送業	22	1	12		10	1
6 農林業	103	1	100	5	3	-4
1 農業	55		43		12	
2 林業	48	1	57	5	-9	-4
7 畜産・水産業	104	2	84	1	20	1
8 商業	251	1	258	4	-7	-3
1 卸売業	39		37		2	
2 小売業	183	1	183	4		-3
3 理美容業	3		2		1	
4 その他の商業	26		36		-10	
9 金融・広告業	23	0	23	0	0	0
11 通信業	18	0	14	0	4	0
12 教育・研究業	20	0	19	0	1	0
13 保健衛生業	281	0	290	0	-9	0
1 医療保健業	109		111		-2	
2 社会福祉施設	166		176		-10	
3 その他の保健衛生業	6		3		3	
14 接客娯楽業	115	0	137	0	-22	0
1 旅館業	27		28		-1	
2 飲食店	60		73		-13	
3 その他の接客娯楽業	28		36		-8	
上記以外の事業	130	3	126	2	4	1
10 映画・演劇業						
15 清掃・と畜業	70	2	67	1	3	1
16 官公署	0		1		-1	
17 その他の事業	60	1	58	1	2	
陸上貨物運送事業(4・3・5・1)	171	2	185	2	-14	0
第三次産業(8～17)	838	4	867	6	-29	-2

死傷者数は、当月末までに発生した労働災害の被災者を翌月7日締めで集計したもの。  
 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。  
 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。  
 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

平成29年 業種別死傷災害発生状況（確定値）

（事故の型別）

鹿児島労働局

業種	年	平成29年		平成28年 (同月末)		増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		1,961	21	1,985	20	-24	1	-1.2%	5.0%
1 製造業		377	1	382	2	-5	-1	-1.3%	-50.0%
1 食料品製造業		236	1	235	1	1	0	0.4%	0.0%
4 木材・木製品製造業		26		20		6	0	30.0%	
9 窯業土石製品製造業		19		15		4	0	26.7%	
11～12 金属製品製造業		30		19		11	0	57.9%	
13～15 機械機具製造業		21		28		-7	0	-25.0%	
上記以外の製造業		45		65	1	-20	-1	-30.8%	-100.0%
2 鉱業		6		5		1		20.0%	
3 建設業		312	8	314	4	-2	4	-0.6%	100.0%
1 土木工事業		118	2	129	2	-11	0	-8.5%	0.0%
2 建築工事業		143	4	148	1	-5	3	-3.4%	300.0%
3 その他の建設業		51	2	37	1	14	1	37.8%	100.0%
4 運輸交通業		189	4	211	2	-22	2	-10.4%	100.0%
1 鉄道・航空機業		11	2	8		3	2	37.5%	
2 道路旅客運送業		16		27		-11	0	-40.7%	
3 道路貨物運送業		161	2	175	2	-14	0	-8.0%	0.0%
4 その他の運輸交通業		1		1		0	0	0.0%	
5 貨物取扱業		32	1	22		10	1	45.5%	
1 陸上貨物取扱業		10		10		0	0	0.0%	
2 港湾運送業		22	1	12		10	1	83.3%	
6 農林業		103	1	100	5	3	-4	3.0%	-80.0%
1 農業		55		43		12	0	27.9%	
2 林業		48	1	57	5	-9	-4	-15.8%	-80.0%
7 畜産・水産業		104	2	84	1	20	1	23.8%	100.0%
8 商業		251	1	258	4	-7	-3	-2.7%	-75.0%
1 卸売業		39		37		2	0	5.4%	
2 小売業		183	1	183	4	0	-3	0.0%	-75.0%
3 理美容業		3		2		1	0	50.0%	
4 その他の商業		26		36		-10	0	-27.8%	
9 金融・広告業		23		23		0		0.0%	
11 通信業		18		14		4		28.6%	
12 教育・研究業		20		19		1		5.3%	
13 保健衛生業		281	0	290		-9		-3.1%	
1 医療保健業		109		111		-2	0	-1.8%	
2 社会福祉施設		166		176		-10	0	-5.7%	
3 その他の保健衛生業		6		3		3	0	100.0%	
14 接客娯楽業		115	0	137		-22		-16.1%	
1 旅館業		27		28		-1	0	-3.6%	
2 飲食店		60		73		-13	0	-17.8%	
3 その他の接客娯楽業		28		36		-8	0	-22.2%	
上記以外の事業		130	3	126	2	4	1	3.2%	50.0%
10 映画・演劇業						0	0		
15 清掃・と畜業		70	2	67	1	3	1	4.5%	100.0%
16 官公署		0		1		-1	0	-100.0%	
17 その他の事業		60	1	58	1	2	0	3.4%	0.0%
陸上貨物運送事業（4-3-5-1）		171	2	185	2	-14	0	-7.6%	0.0%
第三次産業（8～17）		838	4	867	6	-29	-2	-3.3%	-33.3%

業種	順位	事故の型	人数	割合
全産業	1	転倒	427	21.8%
	2	墜落・転落	361	18.4%
	3	動作の反動・無理な動作	261	13.3%
	4	はさまれ・巻き込まれ	207	10.6%
	5	切れ・こすれ	144	7.3%
製造業	1	はさまれ・巻き込まれ	81	21.5%
	2	転倒	72	19.1%
	3	切れ・こすれ	52	13.8%
	4	墜落・転落	45	11.9%
	5	激突され	26	6.9%
建設業	1	墜落・転落	125	40.1%
	2	激突され	27	8.7%
	3	飛来・落下	26	8.3%
	4	転倒	25	8.0%
	5	はさまれ・巻き込まれ	22	7.1%
陸上貨物運送事業	1	墜落・転落	58	33.9%
	2	動作の反動・無理な動作	33	19.3%
	3	転倒	19	11.1%
	3	はさまれ・巻き込まれ	19	11.1%
	5	交通事故（道路）	13	7.6%
林業	1	激突され	15	31.3%
	2	切れ・こすれ	9	18.8%
	3	飛来・落下	8	16.7%
	4	転倒	5	10.4%
	5	墜落・転落	3	6.3%
第三次産業	1	転倒	270	32.2%
	2	動作の反動・無理な動作	175	20.9%
	3	墜落・転落	103	12.3%
	4	交通事故（道路）	75	8.9%
	5	切れ・こすれ	43	5.1%
小売業	1	転倒	72	39.3%
	2	動作の反動・無理な動作	27	14.8%
	3	墜落・転落	24	13.1%
	4	切れ・こすれ	17	9.3%
	5	交通事故（道路）	12	6.6%
社会福祉施設	1	動作の反動・無理な動作	64	38.6%
	2	転倒	52	31.3%
	3	交通事故（道路）	13	7.8%
	4	墜落・転落	7	4.2%
	5	激突され	4	2.4%
飲食店	1	転倒	21	35.0%
	2	高温・低温の物との接触	17	28.3%
	3	切れ・こすれ	8	13.3%
	4	墜落・転落	3	5.0%
	4	動作の反動・無理な動作	3	5.0%

死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込日数が4日以上の災害によるもので、死亡者数を含みます。  
陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

平成29年 死亡災害事例(平成29年12月末)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	平成29年 1月	道路貨物運送業	運転手	男	53	9ヶ月	交通事故	トラック	港から工場へタンクローリー車で生乳を運搬中、道路をはみ出し、横転したもの。
2	平成29年 1月	水運業	作業員	男	74	9年	おぼれ	その他の用具	フェリーが港に接岸する際、船から岸壁に投げられた接岸固定用ロープを岸壁のビットにかけるため、被災者が岸壁上でロープを巻き取りながら輪の状態を作って自らの足下に置き、ロープをたぐり寄せる作業を行っていたところ、船が強風で沖合側に煽られたために船に固定されていたロープも海側に引っ張られ、その反動で被災者が海に転落したもの。
3	平成29年 2月	その他の食料品製造業	作業員	男	57	3年	感電	その他の環境等	作業員5名がそれぞれ刈払機を使用して畑の下刈り作業を行っていたところ、1名の頭部に落雷があり、死亡したもの。
4	平成29年 3月	産業廃棄物処理業	作業員	男	21	2年	はさまれ、巻き込まれ	その他の装置、設備	被災者が終業時間になっても事務所に帰ってこないため、同一敷地内の別会社の労働者が作業場所に探しに行ったところ、堆肥化発酵装置の上部にあるバケット巻上ドラムに巻き込まれた被災者を発見したもの。
5	平成29年 4月	木材伐出業	運転手	男	36	9年	墜落、転落	伐木等機械	民有地の伐木作業に使用していた木材グラップル機のバケットに亀裂が入り使用できなくなったので、機械の入替をするため、7トン積みトラックの荷台に木材グラップル機を積載する作業をしていたところ、荷台から木材グラップル機が横転・転落し、投げ出された運転手が木材グラップル機の下敷きとなり、死亡したものである。
6	平成29年 4月	その他の建築工事業	作業員	男	39	2年	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	老朽化したスレート屋根の上に鋼板を張る作業をしており、ほぼ鋼板は張り終えていたが、明かり採り用の塩化ビニル板を踏み抜き、約5.3mの高さから墜落した。病院に搬送されたが2日後に死亡が確認されたもの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
7	平成29年 5月	警備業	警備員	男	69	19年	交通事故	バイク	被災者は、午前2時頃、道路工事が終わりバイクで現場休憩所に向かっていました。被災者が帰ってこなかったため、現場休憩所で待っていた同僚が付近を探していたところ、6時30分海中の被災者を発見した。
8	平成29年 7月	その他の建築工事業	配管工	男	41	20年	墜落、転落	はしご等	空調の設置改修工事において、高さ199cmの位置にある脚立の踏み板に乗り、天井に開けた開口部から顔を出し天井裏の状態を確認していたところ、脚立から転落し被災した。被災者は保護帽を着用していなかった。また、被災者は安全帯を着用しており、天井の部材にフックを取り付けることが可能であったが使用していなかった。
9	平成29年 7月	一般貨物運送事業	荷役作業員	女	57	9ヶ月	はさまれ、巻き込まれ	トラック	事業所構内において、被災者が休憩を終え休憩所から荷降ろしのためにトラックが発着するエリアを横断し、作業場である食品倉庫に向かう途中、同倉庫前で立ち止まっていたところ、他社の運転手が運転するバック走行中のトラックに轢かれたもの。
10	平成29年 8月	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業	営業員	男	47	17年	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	倉庫のスレートぶき屋根の上において、スレート板を母屋材に留めるフックボルトの交換作業中、被災者が屋根の棟付近のフックボルトをサンダーで切断していたところ、スレート板を踏み抜き、約7.7mの高さから倉庫内床に墜落した。頭を強く打ち、発生当日死亡した。
11	平成29年 8月	その他の建設工事業	作業員	男	61	35年	交通事故(道路)	乗用車	横断歩道の補修作業の完成写真を撮影しようと車道上に死亡労働者と同僚がいたところ、誘導者が停止合図を送ったが直進してきた軽自動車にはねられたもの。軽自動車はさらに中央線を越えて、対向車の軽自動車に衝突したものである。死亡労働者以外の被災状況は、同僚、軽自動車の運転手、対向車の軽自動車の運転手及び同乗者3名の計6名である。
12	平成29年 8月	その他の事業 その他の建築事業	塗装工	男	55	21年	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	2階建て民家の屋根(勾配33°)の上で、被災者が塗装作業に先立ち高圧洗浄機を用いて屋根の洗浄を行おうとしたところ、足を滑らせて約6.6メートルの高さから当民家に面する道路に墜落した。頭を強く打ち、当日死亡した。当民家の四面には一側足場が組まれ、その建地が屋根上まで立ち上がり、屋根の軒から高さ85センチメートルの位置に手すりが設けられていたが、手すりと軒の間から墜落した。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
13	平成29年 8 月	その他の土木工事業	現場作業員	男	50	1ヶ月未満	高温・低温物との接触	高温環境	8月10日、道路脇の草刈作業中、午後4時20分頃に被災者がひどく疲れている様子だったので約400m離れた場所に駐車してあるトラックで休憩するよう指示した。被災者は歩いて行ったが、その後行方が分からなくなり、周囲を探したところ近隣の建物の駐車スペースで泡を吹き意識の無い状態で発見された。その後病院に搬送されたが8月13日午前6時40分に死亡したものの、熱中症と思われる。
14	平成29年 9 月	漁業	フォークリフト運転者	男	54	19年	転倒	フォークリフト	当該事業場の使用する漁港内(屋外)において、被災者がフォークリフト(2.5t)を運転しトラックの脇を通り抜けた直後、上げてあったフォークリフトのマストの右側が地上約4mの位置に設置されたパイプラインに接触したため、フォークリフトがバランスを崩し左側へ転倒した。先に投げ出された被災者がフォークリフトのフレームに胸部をはさまれ死亡した。
15	平成29年 9 月	電気通信工事業	作業員	男	21	3年	交通事故	乗用車	軽ワゴン車が、県道(登り車線が2車線、下り車線は1車線)の登り車線を走行中左カーブに差しかかり、走行車線から対向車線にはみ出したため、下り車線を走行してきたダンプトラック(積載荷重9,400kg)と衝突し、軽ワゴン車は転倒した。 運転者は死亡し、助手席にいた同僚は顔面等を負傷した。
16	平成29年 10 月	産業廃棄物処理業	作業員	男	57	2年8ヶ月	激突され	アーク溶接機	被災者は、トラック用タイヤのホイールに鋼材を溶接して、立て看板の土台を制作する作業を行っていたが、14時30分ごろ、事業場代表者が爆発音のような音を聞いたため、事務所から外に出て辺りを見渡したところ、立て看板の制作作業を行っていたはずの被災者が頭から血を流して倒れていたもの。
17	平成29年 10 月	道路建設工事業	作業員	男	24	2年	交通事故	トラック	積載荷重2トンのトラック(積載型トラッククレーン)に鉄板2枚(700kg)等を積載して幅4.2メートルの市道(最大15度の登り勾配)を後進していたところ、後輪が空転したのちトラックが前進し、トラックの右後方で誘導していた被災者が、トラックと擁壁の間に挟まれ胸などを強く打ち4時間後死亡した。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
18	平成29年 10 月	新聞販売業	販売員	男	35	2年	交通事故(道路)	バイク	ミニバイクで、集金のため移動しており、信号及び一時停止線の無い交差点に進入したところ、出会い頭に乗用車と衝突し被災し、病院に搬送されたがその後死亡したものの。
19	平成29年 12 月	畜産業	作業員	男	52	10ヶ月	はさまれ、巻き込まれ	コンベア	豚舎内で豚の糞尿処理作業を行っていた被災者が、糞尿を豚舎外へ搬出するためのスクリーコンベア(奥行き0.3メートルの側溝内に埋め込まれた径約0.27メートルのスクリーコンベア)に巻き込まれ、死亡した状態で発見されたもの。
20	平成29年 12 月	港湾荷役業	運転者	男	42	22年	墜落、転落	階段、棧橋	被災労働者は、川内港に係留中の貨物船(チップ船)の船倉内で、チップの荷揚げのためドラグショベルに乗ってチップを集める作業を行っていたが、午後11時50分頃、同僚が船倉内に倒れている被災労働者を発見したものである。梯子を昇降中に墜落したものと考えられる。
21	平成29年 12 月	航空業	整備員	男	31	9年	激突され	その他の乗り物	委託を受けた航空機(サーブ340B型。機体重量約13トン。)の尾翼等整備のため、格納庫奥に保管されていた機体をトーイングトラクターで牽引する際、一旦格納庫外へ前進移動させた後、後退させ格納庫内の作業位置へ移動させる作業を行っていたところ、突然左翼下にある車輪が格納され、機体が傾き、左翼が地面に接触した。その際、左翼の真下にいた被災者が下敷きになり被災した。